

総合的な学習の時間

第4学年

竹原市立吉名学園

指導者 阿武 詩穂里

## 吉名食材 PR プロジェクト～ふるさとの食を伝えよう～

## 1 単元のデザイン

## 本単元の目標

地域の特産物を調べたり地域の特産物を使った商品を開発して広めたりする活動を通して、地域の自然を生かした特産物の存在とその生産に関わる人々の思いや願いを理解し、地域の特産物を広めるために自分たちができることを考え、地域の一員として進んで行動することができるようにする。

## 単元について

本単元は、地域の特産物を調べたり地域の特産物を使った商品を開発して広めたりすることが主な活動である。実際に育てている人にインタビューをしたり図書資料やインターネットから情報を収集したりすることで課題解決に向けて情報を活用する力を高めるとともに、地域の一員としてこれからも地域の特産物を守っていこうとする思いを高めることができる。

本単元の主な教材は「吉名のジャガイモ」である。吉名町の温暖な気候を生かして育てられたジャガイモは味がよく、昭和27年から39年頃には日本一の高値で取り引きされたほどである。しかし現在では、生産者の減少などにより生産量は全盛期の10分の1程度まで落ち込み、関西地方に出荷されるため、地元での流通量は少なく、一部では幻のジャガイモと呼ばれている。また、流通量の少なさから県内での知名度はあまり高くない。

## SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

地域の特産物について知り、そのよさを伝える活動は、地元のことをもっと知ってもらえる機会である。自分達の住んでいる町のよさやそれに関わる人の思いを知ること、町を誇りに思う気持ちを高めたい。そうすることで、持続可能なまちづくりに貢献することが期待できる。

## 児童生徒の実態

本学級の児童は、「吉名のジャガイモ」を全国でも有名なものだと思い、愛着を抱いている。また、これまでの生活をとおして「吉名のジャガイモ」が他のジャガイモと比べて「おいしい」ことを体験的に知っている。しかし、育て方や特徴についてはまだ関心が低く、詳しく知らないという現状がある。

ICT活用力やプレゼンテーション力については、児童はこれまでにプレゼンテーションの作成は行ったことがあるが動画編集を行ったことはない。そこで、自分の考えた地域の特産物を生かした商品を、写真や動画をうまく用いながらPRするための方法として動画制作を位置付けたい。

さらに、粘り強く課題に取り組ませ、失敗を恐れず解決策を見付け、実行する経験をして充実感や達成感を感じさせねらいとする力の育成を図りたい。

## 指導の工夫

## (1) プロジェクト型学習

児童が本気になる課題設定をすることができるように、吉名町が100位以内にも入っていないジャガイモの市町村別生産量ランキングを紹介する。児童は「吉名のジャガイモ」が有名であり生産量も多いだろうと考えている。児童の考えと現実とのズレから、「なぜだろう」という疑問や「有名にしたい」という意欲を引き出す。

失敗や困難と出会い再挑戦を繰り返すことができるよう、学校運営協議会のメンバーの方に児童のアイデアを提案し課題を指摘される場を設定する。提案したことに対する課題の指摘を受けることで児童のアイデアが抱える多くの課題が浮き彫りになる。その課題に対して解決策を考えて再提案させることで、様々な視点から物事を吟味したり、粘り強く取り組んだりすることができるようにする。

## (2) ICT活用

本単元では、主に情報を収集したり、動画を作成したりする際に、ICTを活用する。具体的にはインターネットで情報を検索したり、リモートでインタビューやアンケートを実施したりする。また、特産物を広める活動を行う際に動画作成を行う。

## (3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の3つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ……吉名のジャガイモを有名にする方法について考えを広げる場面で用いる。
- ② Xチャート・Yチャート……考えた方法を分類する際に用いる。
- ③ 座標軸……考えた方法を効果的であるか実行できそうかの観点で評価する際に用いる。

## 2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域の食材のよさやとそれが地域の自然を生かして生産されていること、それに携わる人々の思いや願い、抱える課題を理解している。	地域の食材のよさとそれが地域の自然を生かして生産されていること、携わる人々の思いや願いを理解している。	地域の食材のよさ、それに携わる人々の思いや願いを理解している。	地域の食材のよさやそれに携わる人々の願いを理解していない。
	イ 技能	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて2分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて1分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	みんなで集めた疑問や課題の中から、携わる人の思いや願い、課題の背景を踏まえて自分自身で追究したいことを選択・決定している。	みんなで集めた疑問や課題の中から、携わる人々の思いや願いを踏まえて自分自身で追究したいことを選択・決定している。	みんなで集めた疑問や課題の中から、自分自身で追究したいことを選択・決定している。	みんなで集めた疑問や課題の中から、自分自身で追究したいことを選択・決定できない。
	エ 活動を計画・推進する力	自分自身で、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報とそれらを集めるための手段を考え、今後の活動計画を立てている。	教師や友達の助言を基に、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報とそれらを集める手段を考えている。	教師や友達の助言を基に、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報を考えている。	教師や友達の助言を受けても地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報を考えられない。
	オ 情報を収集する力	地域の特産物について、相手の反応を見ながら、臨機応変にインタビューをしてより深い情報を聞き出したり、情報の発信元や情報の真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を収集している。	地域の特産物について、事前に考えた質問項目を基に積極的にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を集めている。	地域の特産物について、事前に考えた質問項目を基にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、必要な情報を集めている。	教師や友達から助言を受けても、情報を集められない。
	カ 整理・分析する力	自分で選択したシンキングツールを使って集めた情報を整理し、地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。	シンキングツールを使って集めた情報を整理し、地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。	シンキングツールを使って集めた情報を整理している。	集めた情報を整理していない。
	キ 表現する力	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、構成や映像の組み合わせを考えながら、動画を制作している。 原稿用紙に頼らずその場で言葉を生み出しながら、相手の共感を得るような話し方で説明を行っている。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、構成を考えながら自分たちで撮影した映像を使って動画を制作している。 教師の示したフォーマットや助言を基に、原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿を覚え、相手により分かりやすく伝えることを意識しながら話している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作している。 教師の示したフォーマットや助言を基に、原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿を覚え、つまらずに話している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作することができない。 原稿を書いたり覚えたりすることができず、この段階のプレゼンテーションとしては十分といえない。
	ク 発想する力 工夫する力	PRしたいものがよりよく伝わるように、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、発想を広げたり考えたりしている。	PRしたいものがよりよく伝わるように、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなどを考えている。	PRしたいものが伝わるように、ネーミングやキャッチコピーなどを考えている。	ネーミングやキャッチコピーを考えられない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点を複数考え、解決策を助言している。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点を複数考えている。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点を考えている。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点を考えられない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	自分が選択した課題に主体的に挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、どこがいけなかったか反省をし、今後を生かしてやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に主体的に挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に進んで挑戦し、進んで失敗しても改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしていない。
	サ 協働する力 (協調性)	みんなで地域の特産物をPRするという理念に立ち返りながら、他者と協働して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら、よりよい解決方法を目指して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみようことなど、具体的な目標を抱き、計画している。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみようことなど、具体的な目標を抱いている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めていない。

### 3 指導と評価の計画（全 45 時間）

時	学習活動	「吉名のじゃがいも」を使った商品を開発して有名にしよう	ICT活用	シンキングツール	評価規準 (評価方法)
1 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「吉名のじゃがいも」について調べて、単元の課題を設定する。</li> <li>・地域にどのような特産物があるかを話し合う。</li> <li>・じゃがいもの市町村別生産量ランキングを知る。</li> <li>・「吉名のじゃがいも」について、先生や地域のじゃがいもに詳しい方にインタビューする。</li> <li>・「吉名のじゃがいも」を有名にするための方法を話し合う。</li> <li>・『吉名のじゃがいも』を使った商品を開発して有名にしよう」という単元の課題を設定する。</li> </ul>		一斉 個別 協働	イメージマップ Xチャート・ Yチャート	(2)ウ (2)エ (行動観察, 振り返りシート)
11 ～ 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「吉名のじゃがいも」を使った商品を考え、提案する。</li> <li>・「吉名のじゃがいも」を使った商品をグループで考える。</li> <li>・グループで考えた商品を学校運営協議会のメンバーに提案する。</li> <li>・提案内容を振り返り、上手くいかなかった原因を分析し、商品開発に必要なことを整理する。</li> </ul>		一斉 個別 協働		(2)エ (2)オ (2)カ (3)コ (行動観察, ワークシート, 振り返りシート)
16 ～ 35 (本時 20時 間目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「吉名のじゃがいも」を使った商品の再提案に向けて、商品開発に必要なことを基に調べたり、商品を考え直したりする。</li> <li>・「吉名のじゃがいも」の特徴を調べて整理する。</li> <li>・保護者や他校の児童生徒、地域の方などにアンケートやインタビューを行う。</li> <li>・他の商品との違いを出すための工夫を考える。</li> <li>・デイキャンプで商品開発に向けて試作する。</li> <li>・再提案に向けたプレゼンテーションを作成する。</li> <li>・再提案をする。</li> </ul>		個別 協働	座標軸 マトリクス (表)	(1)ア (2)オ (2)カ (2)ケ (3)コ (行動観察, ワークシート, プレゼンテーション, 振り返りシート)
36 ～ 43	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商品をPRし、販売する。</li> <li>・商品の販売に向けて、PRするための方法を考える。</li> <li>・商品をPRする動画やチラシ、ポスター等を作成する。</li> <li>・商品をPRし、販売する。</li> </ul>		一斉 個別		(1)イ (2)キ (2)ク (3)サ (行動観察, 制作物, 振り返りシート)
44 ・ 45	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動を振り返り、お世話になった方にお礼の手紙を書く。</li> </ul>			(3)シ (制作物, 振り返りシート)	

#### 4 本時について

##### (1) 本時の目標

「吉名のじゃがいも」を有名にするための方法について、シンキングツールを使って集めた情報を整理し考えることができる。

##### (2) 本時の評価規準及びルーブリック

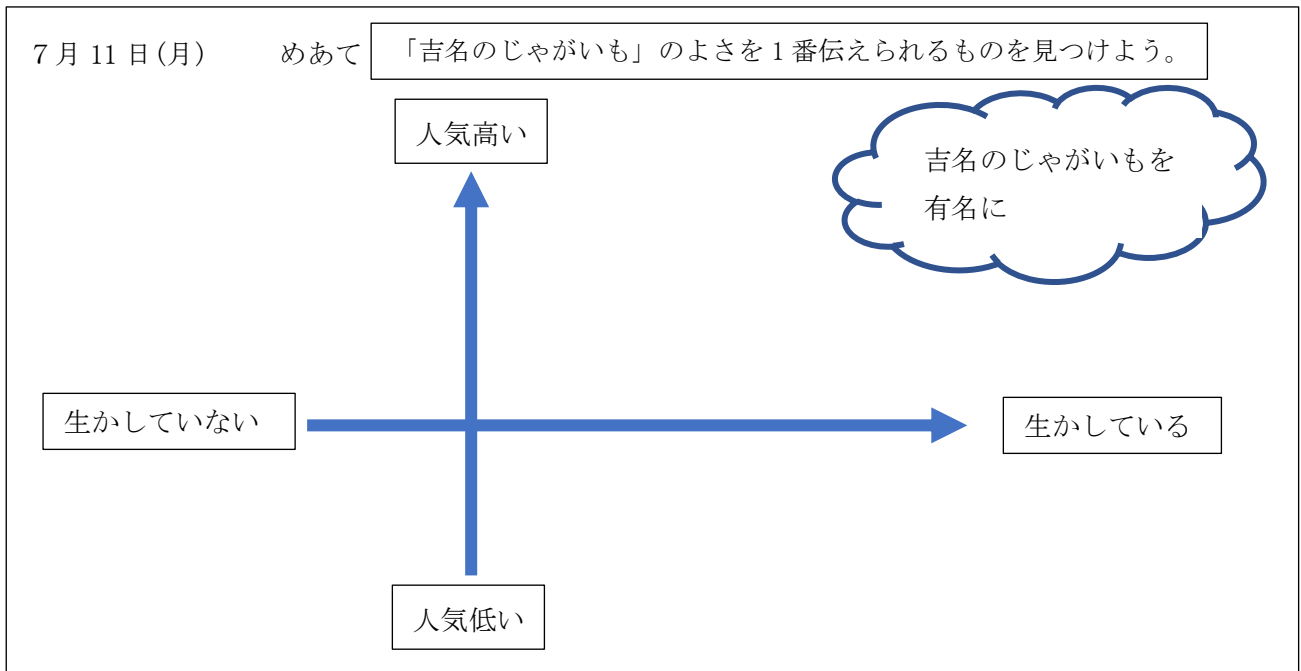
S(期待以上)	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する)
自分で選択したシンキングツールを使って集めた情報を整理し、地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。	シンキングツールを使って集めた情報を整理し、 <u>地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。</u>	シンキングツールを使って集めた情報を整理している。	集めた情報を整理していない。

##### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアをJAの方やお菓子屋さんに提案したね。</li> <li>アイデアに足りないところがあったね、これではだめだ。</li> </ul>	<p>◇活動を振り返ることができるように、電子黒板に前時までの活動や板書を映す。</p>	
<p>2 本時の課題を確認する。</p>	<p>◇理由付けをしながら話し合うことができるように、調べた情報を基に「吉名のじゃがいも」のよさを1番伝えられるものを見付けるために、理由付けをしながら話し合うように促す。</p>	
<p>「吉名のじゃがいも」のよさを1番伝えられるものを見つけよう。</p>		
<p>3 情報を整理しながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ChromebookのJamboardを使って調べた情報を基に、どの料理やお菓子にすればよいかを話し合う。</li> </ul>	<p>◇座表軸の縦軸と横軸の観点を決めることで、複数の観点から考えることができるようにする。その際、消費者が「欲しい」「買いたい」と思っているもののよさが伝えられるかどうかを確認する。</p> <p>EX (人気・品種の特徴)</p> <p>◇意見が違った場合、多数決でなくどうすればよいか考えさせる。前時の足りなかったところを再度押さえる。</p>	<p>シンキングツールを使って集めた情報を整理している。</p> <p>(行動観察・振り返りシート)</p>

4 グループ毎に発表し合う。	◇より吟味することができるように、お互いに発表し合い、疑問に思ったことがあれば質問し合う。	
5 本時の学習の振り返りをする。	◇振り返りシートに振り返りを書かせる。	

#### (4) 板書計画



#### (5) 準備物

○ワークシート    ○ノート    ○Chromebook